

甲州市立地適正化計画策定に係るパブリックコメントの要旨と市の見解

意見の要旨	市の見解
・将来の人口減少、少子高齢化を見据え、コンパクト・プラス・ネットワーク型都市に本市をつくりあげる必要があり、本計画の素案について概ね賛同します。 ・インバウンド観光誘客に繋がる「(仮称)富士トラム」の開通を見越し、山梨市と協議し西関東道路の岩手ランプあたりに駅を作り、そこから塩山温泉郷までのアクセス道路に、バスなどの二次交通を走らせる想定も加味し、上於曽向岳寺線のルートを決定的にすることが大切です。 ・あまり活用されていない塩山駅前広場で、キッチンカー出店やマルシェの開催を促進、賑わいの少ないポケットパークでのアートイベント実施などをできるように、一般への貸し出し推進を期待します。 ・大和地区にコンビニエンスストアの誘致をし、買い物難民が出ないように早期にデマンドバスを勝沼地域含め拡大し、塩山バイパスなどの平地で自動運転バスの実証実験を行ってほしいです。 ・避難所に行くまでに、川を必ず渡る必要がありますが、老朽化した橋が地震で崩れる可能性があるため、補強や建て替えをしていただきたいと思います。 ・道路拡張は、大雪害が起こった場合に、	・本計画の目的実現に向け、計画を推進して参ります。 ・広域的な交通ネットワークは重要であると認識しております。貴重なご意見として、参考とさせていただきます。 ・個別施設に関する提案及び要望についての回答は差し控えさせていただきますが、市民の方からいただいたご意見として、担当課と共有させていただきます。 ・人口減少・少子高齢化に対応した移動手段については重要であると認識しております。市民の方からいただいたご意見として、担当課と共有させていただきます。 また、大和地区へのコンビニエンスストア誘致については、個別の施設に関するものとなりますので、回答は差し控えさせていただきます。 ・本市では、橋梁の急速な老朽化の進行が予想されるなか、維持管理費の縮減や、多大な費用を要する架け替えが集中しないよう長寿命化や費用の平準化を図ることを目的とし、令和4年度に甲州市橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。この修繕計画を基に、補修等の計画的な維持管理を推進しております。 ・先導的に取り組む都市計画道路については、

	除雪車が作業しやすいように配慮し、電動車椅子などが走行しやすいよう歩道の幅を確保すると安心感が増します。 ・地域の防災力の強化のために各区へ市側から呼び掛けて、「地区防災計画」を自治会単位で作成するように推進を希望します。また、コロナ禍以降に簡素化する傾向にある防災訓練について、発災時をリアルに想定して避難所運営まで体験すると、より実践的になります。	道路構造令に基づき幅員を設定し、安全・安心な道路整備の推進に努めてまいります。 ・「甲州市地域防災計画」に則り、地域防災力の向上に資する普及啓発を行っております。「地区防災計画」につきましては、「避難所運営マニュアル」とともに、各自主防災会において策定していただくこととなっておりますので、引き続きお願いしてまいります。防災訓練につきましては、避難所運営を含めて地域の実情に応じた実践的な訓練の実施をお願いしているところでありますが、さらなる防災訓練の充実と実効性の向上を目指し、普及啓発活動の推進に取り組んでまいります。
--	--	---